



8月27日(火)

## 純粋なみことばの乳を慕い求める

聖書朗読 I ペテロ 2:2~12

私のたましいは、神を、生ける神を求めて乾いています。いつ、私は行って、神の御前に出ましようか。  
詩篇 42:2

農場で育った私は、よく親のいない子牛たちに哺乳瓶で乳をあげていました。粉ミルクとお水を2リットル入る哺乳瓶に入れて混ぜ、子牛の名前を呼びながら牛舎へ向かいます。ちょっと行くのが遅くなったりすると、私が（ではなく哺乳瓶）が視界に入るまで、ひっきりなしに鳴き続けました。子羊は柵まで走ってきて、そしてものすごい力で哺乳瓶に吸い付き、私の手から奪わんばかりにあっという間に乳を飲み干します。

今日の聖句を読むたび、この子供時代の光景が浮かびます。『生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。』私たちは、命を与える乳を、ボトルからごくごくと飲む子牛と同じくらいの情熱で知恵と主の御姿を慕い求めているのでしょうか？私たちはすでに、主の恵みをいただくという経験をしています。ですからもっと主の御姿を慕い求めましょう！

讃美歌 II 80

祈り 親愛なる主、今日どうかあなた様をもっと慕い求めるようお助けください。  
イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州グランバリー  
ジャン ノックス

8月28日(水)

## 道に戻って

聖書朗読 I ペテロ 2:9~12

私を義の道に導かれます。

詩篇 23:3

数年前、数人のグループで私はイギリスのチップینگカムデンとバスを結ぶコッツウォルズウェイをハイキングしていました。標識も程よく立っており、私たちはほとんど道に迷うことはなかったのですが、時々、標識がなくなっていたり、動かされてしまっていたり、読みにくくなってしまっていたりするものもありました。そして、私たちが標識を単純に見落としてしまうこともありました。

そのような時は、間違った道へと進んで行っている私たちを見た人々“ハイカーの天使”たちに助けをもらい、正しい道に戻してもらっていました。最も記憶に残っているのが、私たちが道を下っているとき、上から女性が私たちに大声で呼び止めました。「コッツウォルズウェイをハイキングしていますか？」「そうです」と私たちが答えると、その女性は「だったら、一度さっきの分かれ道まで戻った方がいいですよ、そこから正しい道に戻った方がいいわ。」と言いました。この見知らぬ女性が声をかけてくれなかったら、私たちはどこに行ってしまったのかわかりませんでした。

あなたは今までに「ハイカーの天使」に出会ったことはありますか？もし会っていたのなら、私たちは神の恵みの目撃者となります。どうか豊かな一日を！

恵みをいただき、そして与える人生、なんと素晴らしいのでしょうか！

讃美歌 379

祈り ご在天のお父様、あなた様の豊かな恵みをいただくように、私も誰かに恵みを与えることができるようお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トニー アッシュ

8月29日(木)

彼はやめなかった！

聖書朗読 IIテモテ 4:1~8

堅く立って、動かされてはなりません。

Iコリント 15:58

マラソン大会に参加したことがありますか？ゴール地点でゴールしようとしているランナーたちに向かって観衆が声援を送っているのを見たことはありますか？おそらく、やっとゴールできるランナーたちにとっては、この声援はどれだけの励ましになったことでしょう。

使徒パウロは本当に多くの危険と、失望と、仲間の弟子たちからの裏切りさえにもあいました。そんなパウロに捧げる声援の中、最もシンプルででも、とても心に深く響くパウロへの賛辞は、「彼はやめなかった」でしょう。

たった一つの天才的ひらめきや、突然の輝きに感動することがあります。逆に、一つの偉業、賞賛が得られなかったことに落ち込むことがあります。

大聖堂は一日にでは建てられません。巨大文明は10年ではつくられません。スポーツの試合はシーズンを通して楽しめます。充実したクリスチャンの結婚生活や、いつまでも変わらない友情のような深く、変わる事のない信仰や精神性は日々強められます。神は耐えて努力し、堅く立ち、たとえ困難な状況になっても、やめることを拒否する人びとが好きです！

讚美歌 380

祈り 親愛なる主、あなた様の御子イエス様に従い続けることができるよう私たちに声援をください。私たちがよろめいたとき、支えてくださる恵みに感謝いたします。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

テネシー州ブレントウッド  
ペリー C. コタム

8月30日(金)

大事なことは、大事なことを大事にし続けること

聖書朗読 IIテモテ 4:3~8

神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。 マタイ 6:33

大事なことは、大事なことを大事にし続けること。私たちができる一番大切なことは、一番大切なことをすることです。

クリスチャンにとって大事なことはなんでしょうか？それは今もこれからもずっと神とともにいることです。これは、神を愛し、神に従い、神に仕えることも含みます。また、周りの人の手を取って御国へ行くことも含まれています。常に神とにいることを大事なこととして、大事にし続けることは本当に難しいことです。

仕事を選ぶとき、結婚を考えると、引っ越しを考えると、あなたのお金を、時間を使う時、「神とともにいること、キリストのうちに生きること」をまず一番に考えましょう！落ち込んだ時、病気の時、人生の幕が下りるとき、「神とともにいる」という思いがあれば、あなたは必ず乗り越えられます。

パウロが最期を迎えるとき、「私は勇敢に戦い、走るべき道を走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです」(IIテモテ 4:7~8)。それはパウロが大事なことを、大事にし続けたので、彼はイエス様の現れるのを切望していました。日々、一日に何度も言いましょう。「何が起きても、大事なことを大事にし続けいます。」

讚美歌 神の国とその義を

祈り ああ、神よ 何よりも、私はあなた様とともに御国にいることを望みます。どうか、このことを忘れずにいれば、私は日々正しく歩めます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スタッフオード・ノース  
オクラホマ州 エドモンド

8月31日(土)

## 頑 張 り ま す

聖書朗読 ヘブル 12:1~10

しかし私にとっては、神の近くにいるおとが、しあわせなのです。私は、神なる主を私の避け所とし、あなたのすべてのみわざを語りあげましょう。 詩篇 73:28

娘が小さかったころ、彼女はいつもお祈りの最後に「ベストを尽くします、神様」  
と心を込めて力強く言いました。彼女は主のために頑張れることを知っていました。

ある時、私はあることに気が付きました。娘は正しかったのです！良き我が神のため、私たちはもっとベストを尽くさなければなりません。神は私たちに必要なものを与えてくださり、祝福してくださり、そして私たちの祈りを聞いてくださいます。私たちが神に近づけば、神も私たちに近づいてくださいます。

もっと神に近づきたいと思いませんか？他にそう思ったのは誰でしょうか？アブラハムはどうでしょう？ノア、モーゼ、ヨセフ、ダニエル、ヨシュア、ヨブ、ダビデは？日々挑戦です。日々の挑戦にチャンスがあります。チャンスは今です。主は私たちのそのチャンスをつかむことを望んでおられます。イエス様はそのつかみ方を示してくださっておられます。「あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ」(箴言 3:6)パウロは「勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守りとおしました」(Ⅱテモテ 4:7-8)

自分のベストを尽くすということは実践することです。自分の最大限を捧げるとき、私たちは愛することと、成長すること、霊的な成長を経験します。私の謙虚な娘とともに言います。「私のベストを尽くします、神様。」

讃美歌 Ⅱ188

祈り 親愛なるご在天のお父様、あなた様のために生き、働きたいです。どうか私がベストを尽くし主に仕えることを祝福し、たとえあなた様に近づく時、試みと誘惑があったときでも、日々私をお導きください。周りの人々を助けることができるよう、私の人生すべてをささげることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

チャーリーズ・ケイト・キング  
オクラホマ州 アルタス

9月1日(日)

## 正 体

聖書朗読 ヤコブ 13:1~9

あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。

I ペテロ 2:21

弟子たちの足を洗っているときイエス様は、彼らがその後決して忘れることのない模範を与えられました。ペテロはイエス様の申し出を最初は断りましたが、すぐに考えを改めました。イエス様が奴隷の仕事である足を洗うということに、他の弟子たち、特にユダはどう思ったのでしょうか？おそらく私たちが最も聞きたい質問は、主人であるイエス様がどうしたらここまで身を落とすことができたのかではないでしょうか？

私たちの世界では、名声、地位そして権力がその人の価値を決め、誰かに仕えることが大切ではなくなります。私たちが誰であるかは、私たちが何をしているかで判断されます。イエス様は神のもとから来られ、そして神のもとへ戻って行かれます。イエス様は私たちが気にするようなこと、それが足を洗うという奴隷がする仕事であったとしても、それを気にすることはありません。自分たちが誰のものなのか、そしてどこに向かっているのかを知っている者たちにとって、仕える人生を送ることは難しいことではないはずです。

質問：あなたが足を洗いたくない人はいますか？周りの人たちとの関係において、主が示してくださった模範を実行することを私たちはできてきますでしょうか？ユダがこれからしようとしていることを知っていてもなお、主はその裏切者の足をも洗われました。足を洗っておられる主の御姿を心に深く刻み付けましょう。

讃美歌 ともにうたおう 24

祈り 親愛なるお父様、愛することが、そして、仕えることが非常に難しい人に出会うことがあります。私たちも愛されるには難しいときがあったことを忘れませんように。イエス様は私たちが価値ある人間だからではなく、イエス様だから私たちすべてを愛し、仕えてくださっていることを忘れませんように。イエス様の模範に従えるよう強さをお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェリー&リーン・ジョーンズ  
ミズーリ州 セントルイス